

# TPA



## Newsletter

Vol.41 December 2008



平素よりTPA・JTECS事業に格別のご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。  
泰日経済技術振興協会(TPA) 日本語ニュースレター“TPA Newsletter”12月号をお届けいたします。今後とも、変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。



### ★ 最近の活動

#### ◆ Thailand Kaizen Week 2008 第4回改善大会 ◆



東澤先生



工業振興局プラモート局長  
による閉会の辞



2008年10月7-10日、第4回改善大会を実施いたしました。  
今年度は“Thailand Kaizen Week 2008”と銘打ち、日本HR協会 東澤文二先生の特別レクチャーほか、最終審査に残った設備改善のTPA Automation Kaizen Award(7件)ならびに個人の改善Kaizen Suggestion System(16件)と、“Best Practice Lean”(5社)と大学生の“Kaizen Champion Kid”(6校から9事例)の発表が行われました。大会には、4日を通し 658名の方々が参加されました。

#### TPA Automation Kaizen Award 2008

- 金賞 Electricity Generating Authority of Thailand (Bangkruai)「Power & Control Cable剥ぎ機」
- 銀賞 Hitachi Global Storage Technologies (Thailand)「自動Transfer Tool」
- 銀賞 Daikin Compressor Industries「Amazing Open」
- 銅賞 Oki (Thailand)「Modify Conversion Change Hit Package type QFP44/56効率化の改善」
- 銅賞&技術賞 Delta Electronics (Thailand)「自動溶接機」



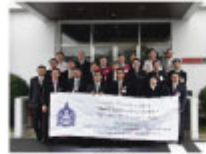
#### TPA Suggestion System Award 2008

- 改善大賞&金賞  
Ms. タッサノーパコーン「つまづきの箱」Hitachi Global Storage Technologies (Thailand)
- 銀賞 Mr. プリーヤ「ふるい清掃器具」Royal Porcelain
  - 銀賞 Ms. シリラット「なす切断器」C.P. Retailing and Marketing
  - 銀賞 Mr. ウッティ「段ボール紙切断機」S.B. Furniture Industry
  - 銀賞 Mr. ポンピット「Supper Transport」Hitachi Global Storage Technologies (Thailand)



### ◆ 改善研修団「Best Practices in TQM」◆

9月28－10月3日、TPA主催にて改善研修団15名が、日本における改善活動の取り組みを視察いたしました。東澤先生による特別レクチャーのほか、㈱小松製作所真岡工場、㈱山武伊勢原工場、花王㈱鹿島工場などを訪問させていただき、改善活動の推進や現場の事例を学びました。



山武



小松製作所



花王

この改善研修団の発表セミナーを、下記の通り開催いたします。

日にち 2009年1月17日(土) 9:00－16:30

会場 パタナカーン新館 セミナールーム3C

参加費 無料

### ◆ The 2nd ABK International Forum Thailand ◆



10月23-24日、スパンブリにおいてABK International Forumが開催されました。ABK(財)アジア学生文化協会は、TPAの前身とも言える団体で、日本における留学生支援の草分け的団体です。今回は小木管理理事長をはじめとするABK役員ならびに中国、韓国、ミャンマー、マレーシア、ベトナム、インドネシアの元同窓生代表が来タイしました。フォーラムに先立つ10月22日、一行はTPA、TPI、TNIを視察されました。



### ◆ 植林活動 ◆

10月25-26日、温暖化防止のための植林事業を支援すべく、会員との交流活動を兼ねてチャチュンサオ県カオ・アンルーナイ保護区において、植林活動ならびに植林器具の寄付を行いました。30名以上の会員の参加があり、職員と共に植林活動に勤めました。



### ◆ スタディツアー ◆



10月18日－26日、泰日工業大学学生18名の九州への研修旅行(スタディツアー)が実施されました。協定校である九州大学での日本語教育や授業の体験参加、麻生福岡県知事表敬やトヨタ自動車九州株式会社の工場見学などを通して、日本への関心を深める貴重な体験を経験することが出来ました。





## ◆ 日本人専門家によるエンベディッド(組み込み)研修 ◆

10月20-25日、JETRO、TESA(タイ組み込み協会)、TPA共催による、TNIのIT学科講師への日本人専門家(井倉・横田氏(来栖川電工)、清水氏(東海大学))による組み込み研修を実施いたしました。



## ◆ タイ桜キャンプ ◆



10月20-21日、来年TNIへの進学を考えている高校生を対象とした1泊2日の「タイ桜キャンプ」が実施され、全国から120名の高校生が参加しました。



## Welcome! 最近の 主なご来訪者

### ◆ 麻生塾

10月10日、福岡の教育サービス大手、麻生塾の関係者が泰日工業大学を視察しました。



改善活動はでお困りなら、  
この雑誌がお答えします!

**Creative & Idea KAIZEN**  
「TNIの多言語版は「Creative Improvement (改善) (イイ)」(創造的) (イイ)」



- ◆ 申し込み5名で1名無料
- ◆ 改善ポスター(4枚セット)ついてきます

### 人を育て 仕事を楽に!

「Creative & Idea Kaizen」は、日本で1000以上の会員を持つ日本HR協会発行の改善情報誌「創造とイイ」のタイ版です。日本における製造業・サービス業の改善活動を中心に、高・イラストをふんだんに使い、紹介・解説しています。改善活動推進の大きな助けとなる情報誌です。

見本お送りしています



定期購読料金: 500円(税/送料込み) 年間配本12冊  
お問合せ先: 02-2580320-5 ext. 1740, 1750  
E-mail: maz.member@tpa.or.th www.tpa.or.th/publisher

## 改善標語コーナー

仕事のやり方・視点換  
7ポイント  
掛け声だけの「発想の転換」よりも

視点の転換で

現状打破



日本HR協会  
「カイゼンカード」より

仕事のやり方・視点換  
7ポイント

掛け声だけの「発想の転換」よりも  
「発送を転換せよ」「固定観念を捨てよ」と言われても、そう簡単に「デキル」ことではない。それよりも、職場の実際のやり方を変えた、方法を変更した改善事例を多く見る方が手取り早い。それらは、小さい事ながらも、発想転換や固定観念打破の実例である。それらの事例を数多く見ることで、

## ☆ Interview ☆

◎日本の改善活動は初期の頃から変わっていますでしょうか？

昔は終身雇用だったので、会社への「忠誠心」に訴える推進も効果的でした。しかし、近年は、正社員が少なくなり、派遣社員やパート社員の割合が増えてきたので、昔の方法は通用しなくなっています。

しかし、改善は「仕事にかかわる人すべて」にやってもらわなければならないので、そのような人々にも改善への取り組みを推奨する必要があります。そのため、今日では「会社のための改善」でなく、「自分のための改善」という呼び掛けがなされています。

もちろん、各人が「自分の仕事」がラクに、快適に、安全にできるように「自分のため」に改善をしてくれれば、その結果として、生産性や品質も向上、また事故や不良は減るので、「会社のため」にもなります。

◎これから改善活を始める会社が留意すべきことは？

「会社のための改善」でなく、「自分のため改善」を訴えるべきです。つまり、「社員にとってメリットのある改善」を第一に推奨すべきです。すると、その結果として、「会社にとってのメリット」も得ることができます。

改善活動の初期段階では次の「3項目の確認」が必要です。

①What; 改善とは何か、改善の意味

②Why; 何のための、誰のための改善か

③How; どのように改善すべきか、具体的な方法

これらで、最も重要なのは「自分のため」という「改善の目的」をハッキリさせておくことです。

◎改善が進まない企業は、どんな点を見直すべきでしょうか？

改善活動がうまくいかない最大の要因は、「会社にとっての効果」を先に求めてしまうことです。まずは

①サバーイ「аυга」

②サヌック「ауп」

③サドウアック「а:аооп」

という「社員にとってのメリット」を訴えるべきです。

◎改善活動の障害となる「企業文化」がありますか？

「大きな改善だけ」を褒めている会社はダメです。むしろ「小さな改善」こそ、大いに褒めて、認めて、大事にすべきです。なぜなら、「大きな改善だけ」が称賛や表彰の対象になると、せつかくの改善が、「一部の人のみ」のものになってしまうからです。

そのため、発表会などの選択基準も「効果の大きさ」だけでなく、イロイロな角度からの基準で、「小さな改善」にも光が当たるようにすべきです。

「小さな改善」が発表や表彰されると、多くの社員は「このような改善なら、自分でもできる」と、自信をもって、「自分の仕事の改善」に意欲的に取り組んでくれるようになるからです。

◎どのような「改善研修」が効果的ですか？

とにかく、「わかり易い改善事例」を基に「改善の定石」を説明することです。たとえば、

\* 縦のものを横に市ただけ

\* 右のものを左に市ただけ

— —などの事例を基に、それで「自分の仕事」がやり易くなったら、それは「立派な改善」であるといった説明が効果的です。



また、改善を誤解している人は、たいてい「余計なこと」をするのが改善と思っています。そのような人には「やめる・へらす・カエル」という「改善の3原則」が有効です。

つまり、まずは「ムダなこと」を「やめる」のが最も良い改善であると理解してもらうこと。そして、どうしても「やめられない」ものは、少しでも「減らす」ことを考える。また、これ以上へ減らせなければ、最後に条件や要素を「変える」という「改善の順序」の指導も効果的です。

◎「創意とくふう」誌には、異なる文化の様々な国の改善が紹介されていますが、日本とタイの改善で異なるところはありますか？

「仕事の改善」に関しては、世界共通です。例えば、ヨーロッパでもタイでも「車の作り方」は同じです。「仕事のやり方」が同じなら、その「改善のやり方」も共通です。

◎今後のタイの改善活動に対するアドバイスをお願い致します。

今回の発表で良かった点は、「ひとつの改善」をしたら、また次の改善という「連続改善の事例」が多々あったことです。

改善活動を「継続→定着化→活性化」させるには

①とりあえず、やってみる

②やってダメなら、また改善

③やって良ければ、さらに改善

— という取り組みが不可欠です。ゆえに、今後も、大いに「連続改善」の発表や共有化が勧められます。

また、いろいろ「面白い発表の工夫」があったのもいいことです。

過剰な演出はダメですが、ある程度の「遊び心」は必要です。

改善活動で最も重要なのは「笑顔」です。それが改善活動のバロメーターです。改善活動で、どれだけ社員の笑顔が増えたか、それが改善の価値です。

会社がいくら儲かっても、「社員の笑顔」がなくなったのでは、それは、決して「改善的・改善活動」ではありません。

東澤文二(とうざわ ぶんじ) 日本HR協会 KAIZEN事業部  
改善の専門誌「創意とくふう」を通じて、30年間主要企業の改善活動の推進ならびに多数の改善事例研究に従事。最も簡単で、最も効果的な改善ノウハウとして体系化。その成果は、受講企業における改善活性化実績で実証済み。



★ 今後の予定

★ セミナー一部より

<http://www.tpif.or.th/>

#### ◆ 日本人専門家による特別コース「個別改善: Focus Improvement」◆

TPMのサブプログラム(8本柱)の一つである個別改善は、生産現場のロス現場で改善し、経営の目標達成をサポートする重要な活動です。この活動はTPMの他の柱の活動と連携しながら、単なる現場改善活動に留まらず、全員参加型のロス改善の仕組みを社内に構築することを目指すものです。

TPAではこの度、生産性経営事務所代表 茅根一照氏をお招きし、「個別改善」コースを開催いたします。

日時 2009年1月19日・20日(月・火) 9:00~16:30

会場 TPAパタナカーン新館

受講料 TPA会員: 6,000 Baht / 一般: 7,000 Baht (VATは含まれておりません)

担当連絡先: Tel. 0-2717-3000~29 Ext.81 email: [sucheera@tpa.or.th](mailto:sucheera@tpa.or.th), [ungwara@tpa.or.th](mailto:ungwara@tpa.or.th)

★ 語学部より

◆ スクンビット本校タイ語コース ◆

コース	Code	受講日	時間	受講料(ﾊﾞｰｯ)	申込期間	開講期間
初級会話	T1 08-009	月～金	9:00～11:30	7,200 100時間	11/26～1/15	1/20～3/17
〃	T1 08-010	〃	〃		1/26～2/15	2/24～4/24
〃	T2 08-009	〃	〃		12/24～1/7	1/8～2/27
中級会話	T3 08-004	月・水・金	〃		10/28～2/6	2/11～5/25
初級会話【夜】	T1 08-05Y	火・木	18:30～20:30	7,250 (6～7名) 6,400 (8～10名) 5,700 (11名以上) 60時間	11/18～1/27	1/29～5/19
〃	T2 08-04Y	〃	〃		12/24～1/11	1/13～4/28
タイ文字	W1 08-005	月・水・金	9:00～11:30		1/11	1/14～3/11
〃	W2 08-006	火・木	〃		2/16	3/12～5/12
会話復習	TF1 08-005	火・木	〃		3/4	3/5～6/2

- \* 後期コースT2, T4, W2は、前期コース修了者が対象です。(T2については、レベルテスト合格者も可)
- \* タイ文字コースは、T2修了者が対象です。
- \* 受講者が定員に満たない場合には、開校されない場合がございます。
- \* 「タイ文字」ならびに「短期集中タイ語会話コース」は、観光ビザの方でも受講できます。
- \* 初級・中級につきましては、観光ビザでは受講できません。日本国内の姉妹団体 (財)アジア学生文化協会 ABKアジアセミナーを通してお申し込みください。 就学ビザの取得ができ、午前コースへのお申し込みが可能です。 問い合わせ先: seminar@abk.or.jp



◆ タイ語留学1年コース ◆

TPAでは、タイ語初心者の方々のための1年留学コースを、毎年実施しております。タイ国教育省の認可を受け、1年間のEDビザ(留学ビザ)を取得し、バンコクで長期滞在しながらタイ語の勉学をする、本格的語学コースです。

コース期間 2009年4月20日～2010年3月12日 (合計940時間)  
 1次募集期間 2008年11月4日～2009年1月16日(金)  
 2次募集期間 2009年2月13日(金)まで \*人数に余裕のある場合に限り実施  
 定員 14～18名 (14名以下の場合には、開講されない場合がございます)  
 詳細はホームページをご参照下さい。 <http://www.abk.or.jp/seminar/thai/one-index.html>



タイ語コース担当連絡先 : Tel. 0-2258-0320 Ext. 1640,1641 e-mail: thschool@tpa.or.th  
 タイ語コース詳細については、語学学校ウェブサイトをご参照下さい  
[http://www.tpa.or.th/slc/thaicourse\\_japaneseversion.php](http://www.tpa.or.th/slc/thaicourse_japaneseversion.php)



## ★ 出版部より

TPA書籍は、TPA Book Center(スクンビット本館、パタナカーン新館、ランシット分校)、及び一般書店にて販売されております。一部TPA出版物は、JCCでも、ご購入いただけます。また、クレジット決済も可能なオンライン通販も実施しています。是非ご活用下さい。

<http://www.tpabookcentre.com>

### ◆ 新刊書翻訳籍のご案内 ◆

#### 『図解 ヒートポンプ』 200ページ

(日本語オリジナル:オーム社発行、田中俊六監修/矢田部隆志編)

自然界に存在する空気や水には利用されていない熱エネルギーが満ちあふれています。その熱エネルギーを汲み上げて空調や給湯に利用する技術「ヒートポンプ」の性能向上にはめざましいものがあり、家庭用から大規模空調・給湯まで広く使われており、今環境・エネルギー対策の切り札として注目されています。本書はヒートポンプの普及書として技術から政策まで図解でかみ砕いて紹介しています。



### ☆ 在タイ日本人のための、日・タイ クロスカルチャー講座 (第28回) ☆

(本講座は、TPA書籍「日本 クロスカルチャー タイ」から、内容を一部抜粋しております)



#### 「テレビニュース」



タイのニュース番組の多くは、たいてい最初にタイ国内のニュースや地方のニュースを流し、よほど大きなニュースでない限り、海外情勢や世界情勢に関するニュースは後のほうに少し流れるだけというパターンが多い。また王室関係のニュースを一番に扱うところも多く、これはかなり長い時間を取って流されることが多い。

日本のニュース番組はこの逆で、全国放送の番組では、世界情勢に関するニュースが大きな位置を占め、かなり時間を取って解説されることが多い。

これは、それぞれの世界における立場が異なることも一因かもしれないが、タイ人は一般的に、日本人よりも世界や諸外国に対する関心が薄く、身近なものを大切にする傾向が強いのも原因と思われる。

物の見方として、日本人は「世界→自国→会社→家族」というように見る人が多いようだが、タイ人は一般的にこの逆で、「家族→会社→自国→世界」というように見る人が多いのも一因であろう。

タイの夕方ニュース番組の構成は、トピックスとなるニュースを最初に、次に国内ニュース、王室関係ニュース、外国、スポーツ、芸能、天気の前になっているのが普通。

- \* 「日本 クロスカルチャー タイ」は、TPA Book Center各書店、バンコク日系書店、JCC、日本人会別館などにて好評発売中です。(199ページ)

上記の紹介例をはじめとする124の事例をもとに、日本人がタイで生活・仕事をする上での注意点、タイ人スタッフとの接し方、タイ社会のタブーなどを面白く解説した書籍となっています。

- \* 日本国内では、アジア文庫(神保町:電話03-3259-7530)にて取り扱っております。こちらも合わせて、御利用ください。

TPA Book Centerでは、技術書・語学教本・読本など書籍の他に、各種ポスター、ビデオなども販売しております。スクンビット店・ランシット店では土日も営業いたしております。  
また、配送サービスも承っておりますので、遠方の方もお気軽にご連絡下さい。

TPA BOOK HOTLINE: 02-662-1020



スクンビット店

スクンビット・ソイ29, 月～金 8:30～18:30  
(土・日 8:00～17:00)  
Tel:0-2258-0320 Ext.1570, Fax:0-2259-9116,  
E-mail:tpab\_s@tpa.or.th  
パタナカーン・ソイ18, 月～土 8:00～17:00  
Tel:0-2717-3000, Ext.202, Fax:0-2719-9478,  
E-mail:tpab\_p@tpa.or.th



パタナカーン店

## TPA日系法人会員募集

会員の皆様には、会報「TPA News」や技術情報誌「Technology」などを通じた情報提供、および、セミナー研修、日本語コース、書籍やその他サービスの割引などの特典がございます。  
TPA会員特典を生かし、タイ人スタッフへの教育、企業研修にご活用頂きたく、ご検討の程よろしくお願ひ申し上げます。

### 編集・発行



泰日経済技術振興協会(タイ語略称:ソーソーター)  
Technology Promotion Association(Thailand-Japan)  
<http://www.tpa.or.th>  
日本語でのお問い合わせは、日本人スタッフまでお願いいたします。  
Tel 02-258-0320 浅見Ext.1913

## [スクンビット本館]

- 語学事業(日本語、タイ語、英語、中国語)
  - 出版事業(語学テキスト、技術書、文化本、日本語書籍からの翻訳出版を含む)
- 5-7 Sukhumvit Soi 29, Bangkok 10110  
Tel.02-258-0320 Fax.02-662-1017



## [パタナカーン新館]



- セミナー研修事業(技術、経営など)
  - 工業計測器気の校正、環境検査事業
  - 診断・コンサルティング事業
  - インターネットビジネス事業
- 534/4 Pattanakarn Soi18, Bangkok 10250 Tel.02-717-3000 Fax.02-719-9481